

授業科目	*健康教育論				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11115J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	財津 倫子、鹿毛 美香							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、病棟における患者指導の経験や保健師としての経験を生かし、以下の講義を行う。</p> <p>現在、わが国の医療体制は、病院完結型医療から地域包括医療へと大きくシフトしている。その中で、看護には、健康づくり・疾病予防から、外来、入退院後の過程で、教育的な支援役割が期待されている。看護者は、対象者である個人や集団がもつ能力を活かし、充実した社会生活を送ることができるように、相談・指導・教育の支援をすることが必要である。当該授業では、個人・集団への健康保持・増進を支援する健康教育と、治療を必要としていたり、退院後に健康状態の再構築を必要としている対象者への患者教育について解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. ヘルスプロモーションと健康教育の目的を説明できる。(DP1-2,DP2-1)</p> <p>2. 個人・集団を対象とした健康教育・患者教育の方法、技術及び教育媒体の種類と特徴を説明できる。(DP1-2,DP2-1)</p> <p>3. 健康教育・患者教育に活用できる保健行動理論を説明できる。(DP1-2,DP2-1)</p> <p>4. 個人の特性に応じた、対象にわかりやすく伝える患者教育が説明できる。(DP1-2,DP2-1)</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	0	60	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			21	0	32		53	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			19	0	28		47	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
健康教育・患者教育の基本的な知識を理解し、看護実践のさまざまな問題を考える時に応用することができる。文献の内容について説明し、他の人に正確に伝えることができる。				健康教育・患者教育の基本的な知識を身に付け、それを人に説明することができる。文献の内容について、他の人に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ:患者教育の理論1(財津倫子) 患者教育のねらいと、アンドラゴジー及びセルフケア論の基本的知識について解説する。	講義	復習:授業内容の復習	45
2	テーマ:ヘルスプロモーションと保健行動理論(鹿毛美香) ・ヘルスプロモーションの定義および保健行動理論について解説する。	講義	復習:授業内容の復習	45
3	テーマ:患者教育の理論2(財津倫子) 事例をもとに、理論の活用の仕方について解説する。	講義	復習:授業内容の復習	45
4	テーマ:患者教育-対象にわかりやすく伝えるとは-(財津倫子) ・対象にわかりやすく伝える方法と指導案について解説する。 ・対象にわかりやすく伝えるということについて考えながら、個人で指導案を作成する。	講義 ・個人ワーク	復習:授業内容の復習	45
5	テーマ:患者教育-患者教育の媒体作成1(財津倫子) ・個人でパンフレットを作成する。	個人ワーク	復習:授業内容の復習	45
6	テーマ:患者教育-患者教育の媒体作成2-(財津倫子) ・個人でパンフレットを作成する。	個人ワーク	復習:授業内容の復習	45
7	テーマ:患者教育-指導体験-1(財津倫子) ・作成したパンフレットを用いて、指導体験・患者体験をする。 ・実践後、自己評価と他者評価 ・健康教育、患者教育の学びを振り返る。	・発表	予習:作成したパンフレットをどのように指導するかをイメージトレーニングしておく。 復習:授業内容の復習	45
8	テーマ:患者教育-指導体験-1(財津倫子) ・作成したパンフレットを用いて、指導体験・患者体験をする。 ・実践後、自己評価と他者評価 ・健康教育、患者教育の学びを振り返る。	発表	予習:作成したパンフレットをどのように指導するかをイメージトレーニングしておく。 復習:授業内容の復習	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護職の教育的役割とその方法を学ぶ科目です。授業内容の復習を行い、基本的な知識を説明できるようになりましょう。			
テキスト	・大西和子他編:成人看護学概論, 廣川書店. (成人看護学概論テキスト)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・野川道子編著:看護実践に生かす-中範囲理論 第2版, メヂカルフレンド社, 2016			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>・身の回りには多くの健康教育・患者教育の場があります。どのような健康教育や患者教育がされているのか、インターネット検索などを行うなどして関心を高めてほしいと思います。</p> <p>・7・8コマ目は2コマ合わせての発表会を予定しています。時間割の関係で、日程が変更される場合があります。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	作成した、指導案 40%、パンフレット 60%で評価を行います。詳細は、授業の中で説明します。			

